

## 平成30年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山県）

－ 収穫量5年ぶりに増加 －

### 【調査結果の概要】

1 結果樹面積

結果樹面積は4,980haで、前年産並みとなった。

2 収穫量及び出荷量等

10a当たり収量は1,470kgで、前年産に比べ400kg（37%）上回った。

収穫量は7万3,200t、出荷量は7万600tで、前年産に比べそれぞれ1万9,700t（37%）、1万8,900t（37%）増加した。

なお、収穫量は全国の65%を占め、昭和40年産から54年連続全国1位となっている。

図1 うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量の推移（和歌山県）

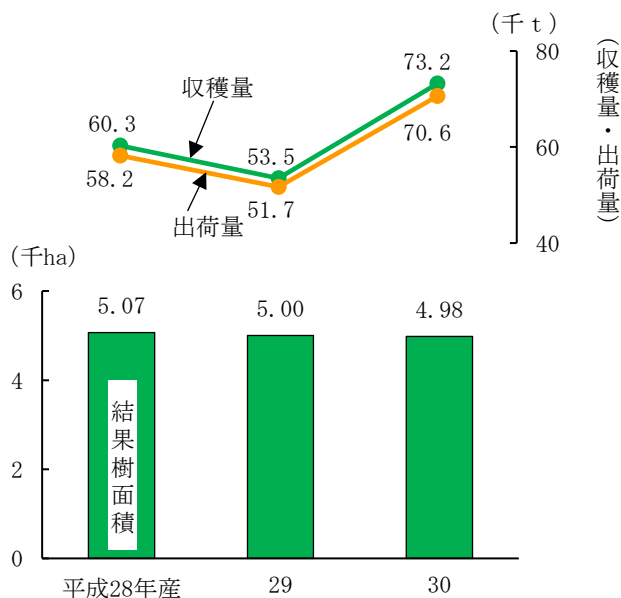
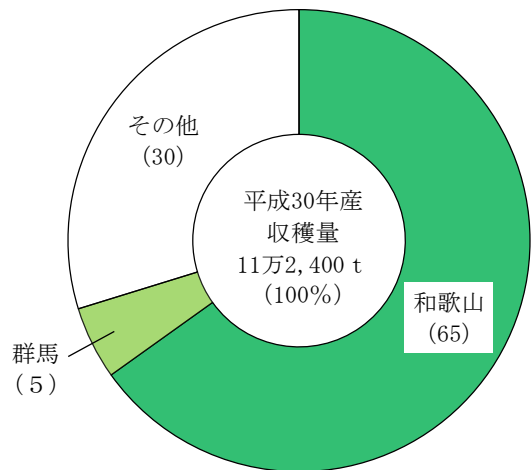


図2 うめの都道府県別収穫量割合



注：結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

この統計調査における調査の目的及び対象などは【調査の概要】5ページに掲載しています。

◎ 調査結果の主な利活用

- ・ 果実を安定的に供給するための生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく果樹共済事業の適正な運営のための資料

◎ 累年データ

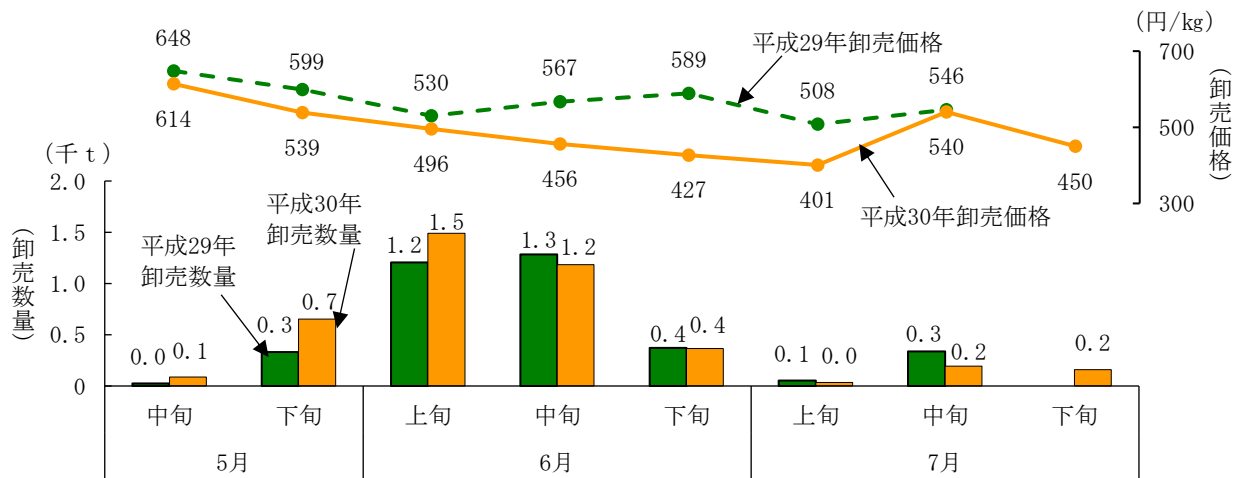
うめの結果樹面積、10 a 当たり収量、収穫量及び出荷量（和歌山県）

区分	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t
平成21年産	5,110	1,400	71,500	68,800
22	5,140	1,100	56,500	54,300
23	5,140	1,270	65,300	63,000
24	5,140	1,070	55,000	53,100
25	5,130	1,540	79,000	76,100
26	5,140	1,390	71,400	69,000
27	5,100	1,250	63,800	61,500
28	5,070	1,190	60,300	58,200
29	5,000	1,070	53,500	51,700
30（概数）	4,980	1,470	73,200	70,600

資料：農林水産省統計部『果樹生産出荷統計』

◎ 関連データ

1 うめの卸売数量及び卸売価格の推移（主要卸売市場計・和歌山県産）

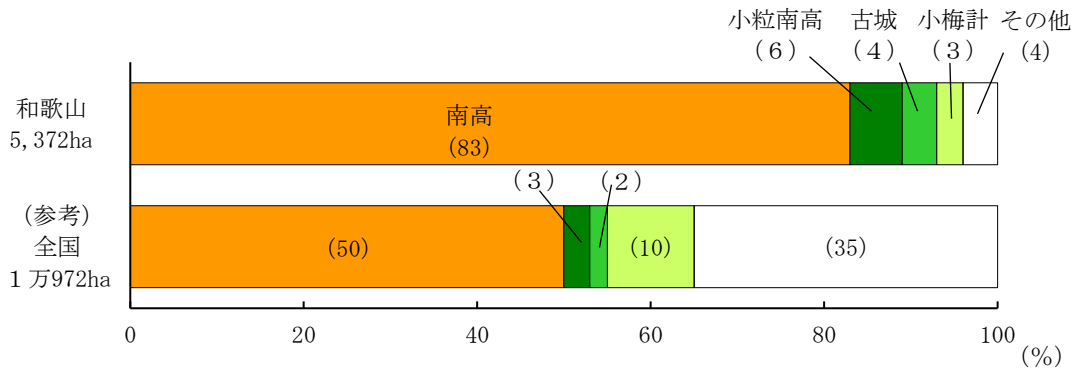


資料：農林水産省統計部『青果物卸売市場調査』

注：1 全国の主要都市に所在する主要な中央卸売市場の日別値を積み上げて算出したものである。

2 平成29年7月下旬の卸売数量・卸売価格は、和歌山県産の卸売数量が、主要卸売市場の取扱数量の多い順に80%を占めるまでの産地に含まれていないため公表していない。

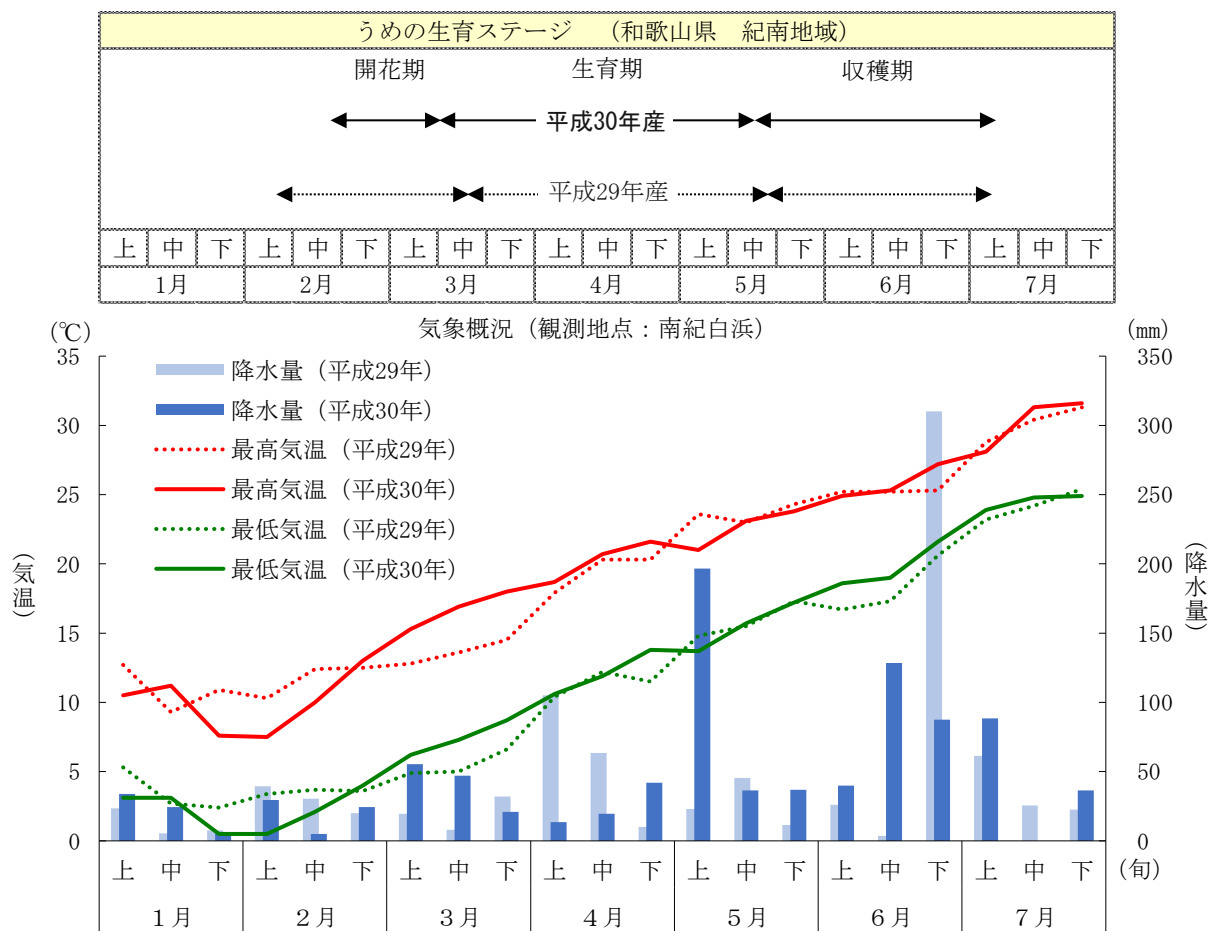
## 2 うめの品種別栽培面積割合（和歌山県）



資料：農林水産省生産局『平成27年産特産果樹生産動態等調査』

注：調査手法等が異なるため、数値は果樹調査結果と整合しない。

## 3 うめの生育ステージと気象概況



資料：和歌山地方気象台ホームページ『過去の気象データ検索』

## 【調査結果】

### 1 結果樹面積

結果樹面積は4,980haで、前年産並みとなった。

これは、過年次に改植されたものが結果樹齢に達したことによる増加があるものの、農家の高齢化等に伴う廃園や老木園の改植等による減少があったためである。

### 2 生育概況

1月下旬から2月下旬にかけて低温に推移したため、満開期は前年産に比べ1週間程度遅く、開花期間も短くなったが、開花期間中は高温に推移したため受粉も良好で、着果数は前年産に比べかなり多くなった。

また、3月以降も高温に推移し適雨にも恵まれたため、果実肥大は前年産に比べかなり良好であった。

主な被害は、5月から6月の多雨によるすす斑病や、カメムシによる吸汁被害が見受けられた。

### 3 10a 当たり収量

10a 当たり収量は1,470kgで、前年産に比べ400kg（37%）上回った。

これは、前年産が着果数が少なく果実肥大がやや抑制され不作であったのに対し、本年産は着果数がかかなり多かつたことと果実肥大が良好であったためである。

### 4 収穫量・出荷量

収穫量は7万3,200t、出荷量は7万600tで、前年産に比べそれぞれ1万9,700t（37%）、1万8,900t（37%）増加した。

なお、収穫量・出荷量とも、平成25年産以来5年ぶりに増加し、平成25年産、平成9年産に次いで過去3番目に多くなった。

表 平成30年産うめの結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量  
(全国及び収穫量上位5主産県)

区 分	結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量	対前年産比			
					結果樹面積	10 a 当たり収量	収穫量	出荷量
	ha	kg	t	t	%	%	%	%
全 国	14,800	759	112,400	99,200	98	132	129	131
うち和歌山	4,980	1,470	73,200	70,600	100	137	137	137
群 馬	952	603	5,740	5,250	98	111	110	111
三 重	246	848	2,090	1,480	98	128	126	125
神奈川	362	500	1,810	1,590	99	139	137	138
長 野	423	418	1,770	1,340	96	102	98	98

注：調査は、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び果樹共済事業を実施する都道府県（主産県）を対象に実施しており、全国値については主産県の結果を基に推計した。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作況調査の果樹調査として実施したものであり、果樹の結果樹面積、収穫量、出荷量等の現状とその動向を明らかにし、食料・農業・農村基本計画における果実の生産努力目標の策定及びその達成に向けた各種対策の推進、農業保険法に基づく果樹共済事業の適正な運営等のための資料を整備することを目的としている。

### 2 調査の範囲・対象

調査の範囲は、平成28年面積調査結果に基づき、全国の栽培面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県及び調査対象品目に係る果樹共済事業を実施する都道府県を調査の範囲（主産県）としている。

調査対象は、調査対象品目を取り扱っている全ての農協等の関係団体（関係団体調査）及び標本経営体（標本経営体調査）とした。

### 3 調査事項

- (1) 関係団体調査  
結果樹面積及び出荷量
- (2) 標本経営体調査  
結果樹面積、出荷量及び自家用、無償の贈与の量

### 4 調査期日

収穫・出荷終了時

なお、本調査の年産区分の主たる収穫期間は、次のとおりである。

品 目	主たる収穫期間
う め	平成30年 6 月

### 5 調査方法

本調査は、関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査により行った。

### 6 集計方法

結果樹面積の集計は、関係団体調査結果を基に行っており、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた10 a 当たり収量に結果樹面積を乗じて算出し、必要に応じて統計調査員による巡回又は職員による情報収集の結果により補完している。

出荷量の集計は、関係団体調査結果から得られた出荷量及び標本経営体調査結果から得られた10 a 当たり出荷量等を基に算出している。

## 7 用語の解説

- (1) 結果樹面積とは、栽培面積のうち、生産者が本年産の果実を収穫するために結実させた面積をいう。
- (2) 収穫量とは、収穫したもののうち、生食用又は加工用として流通する基準を満たすものの重量をいう。
- (3) 出荷量とは、収穫量から生産者の自家消費量、生産物を贈与した量等を差し引いた重量をいう。

## 8 利用上の注意

- (1) 統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原 数		6 桁 (10万)	5 桁 (1万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100以下)
四捨五入する桁数（下から）		2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前（原数）	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した後（統計数値）	123,500	12,300	1,230	123

- (2) この資料に掲載された数値を他に転載する場合は、「平成30年産うめの結果樹面積、収穫量及び出荷量（和歌山県）」（近畿農政局）による旨を記載してください。

## 9 その他

平成30年産の数値は概数値である。確定した詳細な数値は、農林水産省ホームページに掲載（平成31年12月予定）するとともに、その後刊行する『近畿農林水産統計年報』への掲載を予定している。

なお、詳細な数値を農林水産省ホームページに掲載した後の正誤情報は、農林水産省ホームページでお知らせする。

## 【ホームページ掲載案内】

- 近畿の統計調査結果は、近畿農政局ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/> 】

- 全国の統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の「統計情報」で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果は、分野別分類「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「果樹」の「作況調査（果樹）」で御覧いただけます。

【 [http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou\\_kazyu/index.html#y5](http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kazyu/index.html#y5) 】

## 【関連リンク】

果樹関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/>

果樹農業振興基本方針：農林水産省＞組織別から探す＞生産局＞園芸作物（野菜・果樹・花き）＞果樹のページ＞果樹施策の概要

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/pdf/kajyu427.pdf>

### 【お問合せ先】

#### ◎本統計調査結果について

近畿農政局和歌山県拠点 統計チーム

電話：（代表）073-436-3831 内線304

（直通）073-436-3835

F A X : 073-436-5002

#### ◎農林水産統計全般について

近畿農政局統計部統計企画課

電話：（代表）075-451-9161 内線2623

（直通）075-414-9620

F A X : 075-417-2067



**政府統計**

政府統計の総合窓口

( e - S t a t )

<http://www.e-stat.go.jp/>



**漁業センサス**

平成31年1月1日現在で、魚市場及び冷凍・冷蔵、水産加工場を対象に、2018年漁業センサス流通加工調査を実施します。

調査票が届きましたら、記入の御協力をお願いいたします。また、調査票はオンラインによる回答も可能です。